

田原本町3小統合施設基本構想

【住民協議会開催結果概要】

目次

1. 住民協議会開催結果の概要	3
2. 参加者からの質疑概要	4
3. ワークショップでの意見概要	6
4. 基本構想の策定に向けたとりまとめ	9

住民協議会では計93名の地域住民の皆様に参加いただきました

1. 住民協議会開催結果の概要

開催概要		参加者数
開催場所	青垣生涯学習センター2F研修室	計93人
日 時	・ 9月18日(日) 14:00～16:00(東小学校区)	33人
	・ 9月19日(月) 10:00～12:00(北小学校区)	28人
	14:00～16:00(田原本小学校区)	32人



東小学校区



北小学校区



田原本小学校区

各校区から頂いた様々な意見のうち、共通する意見は下記のとおりです

2. 参加者からの質疑概要(各校区共通意見)

校区	分類	意見内容
共通意見	ハード	田原本小を統合校と想定した場合の規模や敷地条件 <ul style="list-style-type: none"> ・田原本小の敷地形状、敷地内を通る水路の制約があるが計画できるか ・統合により児童と教室が増加し、（運動会開催含め）適正な規模を確保できるか ・教員が校舎の隙間に駐車している状況もあり、来客用駐車場等のスペースは確保できるか
		建築工事、新校舎の防災・安全面 <ul style="list-style-type: none"> ・工事中の騒音は授業に影響を及ぼさないか ・新設校舎の階層を上げる場合、避難時の児童の安全性は確保はできるのか ・最速で令和9年の開校を予定しているが、工期が延びる場合どれくらいの延長期間を想定しているか
	ソフト	転校や工事に伴う児童のケア <ul style="list-style-type: none"> ・環境の変化に伴う児童の心のケアが必要と考える ・グラウンドで遊べず、工事音がある期間が2年間も続くのは児童へよくない影響を与えないだろうか
		教員に対するサポート <ul style="list-style-type: none"> ・教員方が新しい学校の準備でさらなる長時間労働が予想されるのでケアをしていただきたい ・統合を見据えて教員方の授業の進度も合わせて欲しい
		各校で異なる学習・指導方法や特色の融合 <ul style="list-style-type: none"> ・各校で異なる学習・指導方法や特色、制服等をどう融合していくのかも課題になる ・先を見据えて統合校以外の5つの学校もどうしていくか検討する必要があるのではないか
	その他	保護者・地域住民への情報共有 <ul style="list-style-type: none"> ・統合に向けたハード面、ソフト面を含めた具体的な動きやスケジュールを共有して欲しい ・統合について知らない保護者も多いため、今後も保護者に対して意見を聞く機会、説明会を開催していただきたい
		スクールバスの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・3小統合により東小・北小の校区の子どもは通学距離が遠くなるが、スクールバス等の導入は検討されているか ・スクールバスでの送迎を想定した場合の乗降場所の確保と周辺道路の狭さ・交通量の多さにどう対応していくか

各校区から頂いた特有の意見としては下記のとおりです

2. 参加者からの質疑概要(校区别意見)

校区	意見内容
東小学校	<p>統合への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入学の児童は学校を選択できないか。北小、田原本小だけでなく南小など隣接する校区の学校を選択できるようにしてほしい ・校区割りの見直しがないのであれば、遠方からの通学やスクールバスの問題について検討いただきたい ・今後、南・平野小も統合すると東に長い校区になり、校区の端に住む児童は通うのが困難になる。今から5つの小学校をトータルで考える必要があるのではないか ・統合までに2回学校を変えるのは児童の負担が大きい。在校生はそのまま東小に通い、新入生については田原本小とできないか <p>その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区の見直しは想定しているか ・町内をみると、東西で発展度合いに差があると感じる。東側地域の都市計画区域の見直しは考えているか
北小学校	<p>学校規模・クラス編成等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余裕を持った教室規模としてほしい。学童も含めてどれくらいの教室規模を想定されているか ・学校が避難場所になることも想定して計画を考えているか ・学校規模検討の基準とした学校教育法は古くないか。コロナ禍を踏まえた規模検討が必要ではないか ・学童所管の部署と協議する予定はあるか。希望としては学童施設は校舎と別棟で設置してほしい <p>その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政面での課題整理が必要である。次回説明会では統合計画の予算も提示して欲しい
田原本小学校	<p>使用しなくなった校舎・敷地についての今後の管理・活用方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・跡地利用・管理方法についてはどう考えているか ・田原本小での統合となった場合、工事期間中の騒音問題を避けるため一部のクラスの児童が北中の空き教室を使用することも考えられないか <p>その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後小中一貫校が進むことになると、今回の統合が無駄にならないか ・大和平野中央プロジェクトと青垣生涯学習センターエリア候補地の関係について教えていただきたい

東小学校区のワークショップでは下記のご意見が見受けられました

3. ワークショップでの意見概要【東小学校区】

※重複・同種のご意見は一つに集約しています
※青字は多く見受けられたご意見を示しています

テーマ1 どんな子どもに育ってほしいか	
思いやり・個性を尊重	<ul style="list-style-type: none"> 思いやりのある子ども（困っている人がいたら助けてあげられる子/人に優しくできる子/人の気持ちを考えられる子ども） 人間性・道徳心をもった子ども 想像力豊かな子ども 当たり前で感謝できる子ども 差別（いじめ）のない子ども お互いの個性を尊重できる子ども 多様性に対応できる子ども
地域や人とのつながり・地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> 地域や人とのつながりを大切にできる子ども 町への愛・プライド 地域の文化を大切にできる、発信できる子ども
健康・元気	<ul style="list-style-type: none"> 明るく元気な子ども 健康的な子ども のびのびと育ってほしい
その他	<ul style="list-style-type: none"> 好奇心が強い子ども（何事もチャレンジすることをおそれない子供/色々なことに興味を持つ子供） 地球に優しくできる子ども（SDGs） 自分の意見をしっかり言える子ども（自分を持っている子ども） あいさつができる子ども 時代の流れについていける子ども 夢がある子ども 素直な子ども 協調性の高い子ども 確かな学力を持った子ども

テーマ2 未来の学校づくり	
ハード	<ul style="list-style-type: none"> 広い（開放感のある）教室、廊下、校庭 豊かな自然 バリアフリー IT化に対応した施設 耐震、災害に強い立地 楽しい遊具 木造の学校 屋内プール 発電できる学校
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自主的に取り組むような教育 各学年の交流ができる（学年にとらわれない縦割り教育/学年間交流） 各クラスの人数を少なくしてほしい 多様なことを経験できる 人権教育 グローバルな授業 SDGs教育 ICT（プログラミング）教育 北欧の学校教育を研究して取り入れる 地域と交流できる学校 先生に相談しやすい環境 個別指導の充実
その他	<ul style="list-style-type: none"> スクールバスの導入 校区の見直し 安全な通学路 学校の選択制度（隣接校への入学、転校）

北小学校区のワークショップでは下記のご意見が見受けられました

3. ワークショップでの意見概要【北小学校区】

※重複・同種のご意見は一つに集約しています
※青字は多く見受けられたご意見を示しています

テーマ1 どんな子どもに育ってほしいか	
思いやり・個性を尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思いやりのある子ども（人の気持ちを想像することができる子ども） ・ 優しい子ども ・ 仲間を大切にする子ども ・ 人助けができる子ども（助け合いの気持ちをもてる） ・ 個性が生きる子ども
地域や人とのつながり・地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域への愛をはぐむ子ども ・ 地域とつながる子ども ・ 年配の人との交流をできる子ども
健康・元気	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るく元気な子ども ・ 健康的な子ども
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立した考えを持つ子ども（自分の気持ちをはっきり言える） ・ 感情豊かな子ども ・ 協調性のある子ども ・ 挑戦する子ども ・ あきらめない子ども ・ 礼儀正しくあいさつできる子ども

テーマ2 未来の学校づくり	
ハード	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童などが交流できる余裕あるスペース ・ 地域と交流できる環境（地域との交流が積極的にできる場づくり） ・ 広い運動場 ・ 屋内運動場 ・ 屋根付きのプール ・ 学童施設の充実 ・ 防災機能の充実（避難所等） ・ 安全面、セキュリティの充実 ・ 自然を感じられる環境 ・ 情報化の進んだ施設
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他クラスや他学年との交流（横のつながりだけでなく、縦のつながりもある学校） ・ 少人数学級（どの子どもも取り残さない教育へ） ・ きめ細かな子供のサポートできる（一人一人に目が届く指導） ・ 一人一人の個性に気づき伸ばすことができる学校 ・ 特別支援の充実 ・ 心のケアの充実/カウンセラー配置 ・ 学習内容が豊かになるような人材派遣 ・ 道徳の充実 ・ 外国語教育の充実 ・ デジタル社会への対応（IT技術を使いこなせる） ・ eスポーツの授業 ・ 食育の充実
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田原本町を好きになる学校 ・ 安全な通学路 ・ PTA活動の適正化（PTAがどうなるか？/PTA活動の見直し）

田原本小学校区のワークショップでは下記のご意見が見受けられました

3. ワークショップでの意見概要【田原本小学校区】

※重複・同種のご意見は一つに集約しています
※青字は多く見受けられたご意見を示しています

テーマ1 どんな子どもに育ってほしいか	
思いやり・個性を尊重	<ul style="list-style-type: none"> 心豊かな優しい子ども みんなと仲良くできる子ども 感性が豊かな子ども 多様性当たり前に受け入れてる子ども 思いやりのある子ども 「人の役に立ちたい」という気持ちを持てる子ども
地域や人とのつながり・地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> 地域を誇りに思える子ども 田原本でよかったと思える子ども
健康・元気	<ul style="list-style-type: none"> 元気で明るい子ども たくましい心身
学力・体力・技能	<ul style="list-style-type: none"> PCなどをしっかり使える子 確かな学力を身につける 勉強も運動もよくできる子ども
その他	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを持ち、思い・考えを伝えることができる子ども 学びをいかして成長できる子 あいさつができる子ども 自己肯定感が高い子ども 探求心のある子ども 柔軟性のある子ども

テーマ2 未来の学校づくり	
ハード	<ul style="list-style-type: none"> 安心安全な校舎 <ul style="list-style-type: none"> 将来の児童数減少に対応できる施設に（例えば教室の間仕切りを変えられるように） どの席でも明るい照明 コミュニケーションが取れるスペースの確保 吉野杉の木造建築 夢のあるデザインの校舎 浄水器設置 広いグラウンドのある学校（体をめいっぱい動かせるところ） <ul style="list-style-type: none"> ゆとりのある教室 緑の多い中庭のある学校 老人ホームと同居した学校 町を見渡せる展望台 意見を出しやすい学校（目安箱） 明るく楽しく元気な学校 空調の整備
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> 多年代の交流（縦割り授業） <ul style="list-style-type: none"> 一人一人を大切にする学校 いじめのない学校 子ども・先生共に心のケアができるように 選べる学問、部活 先生とのより深いつながり 一人一人の個性を活かす教育 <ul style="list-style-type: none"> 別の学年と交流できる場所や機会を作ってあげる 人とのつながりを実感できる学校
その他	<ul style="list-style-type: none"> 安全な通学路 長期的視野での教育計画 登下校通知アプリ

今回の住民協議会の結果を踏まえ、基本構想への反映や今後の進め方について下記のとおり整理しました

4. 基本構想の策定に向けたとりまとめ

■ 子どもの将来像（コンセプト）への反映について

- ✓ ワークショップでは、「思いやりがあり、個性を尊重する子ども」「地域に愛着を持つ子ども」「健康で明るく元気な子ども」といった意見が多くみられました
- ✓ 個性を尊重し他者を思いやる、助けあい・支えあうことのできる心を育むことも重要であるとの意見が多くみられました
- ✓ 総じて、学力・体力・技能の向上より、精神面における健全な成長を望む意見が多くみられました

■ 学校づくり（建築計画等）への反映について

- ✓ 共通的に「余裕のある教室」「児童間の交流」「児童・教員へのケア」「工事騒音等の影響緩和」はいずれの校区においても意見がみられました
- ✓ ハード面では「広い校庭・校舎」「地域住民や児童同士が交流できるスペース」「学童のための施設」「安心・安全な学校」「緑の多い学校」等を求める意見が多くみられました
- ✓ ソフト面では「他クラスや他学年との交流機会の増加」「児童一人一人の個性に気づき、伸ばすことのできる教育」「少人数学級」「児童・教員の心のケアやサポート体制の充実」等を求める意見が多くみられました
- ✓ その他では「安全な通学路」「スクールバス導入」「PTA活動の適正化」「浄水器や空調の整備」等の意見がありました

■ 今後の進め方について

- ✓ 上記意見を踏まえてコンセプトや整備方針、諸室・規模の設定において検討します
- ✓ 今後も引き続き説明を求める意見が多かったため、住民や保護者向けの説明会を継続して開催していく必要があります
- ✓ その他、統合に際してのソフト的な課題（隣接校区への選択通学、通学路、児童・教員の心のケア、制服、PTA活動等）について不安視する声もあったため、別途協議・検討の場を持つ必要があります